

(注)当該データ及び数値を利用したことについて生じる結果について、NRIは、一切の責任を負うものではなく、また、当該データ及び数値の内容について、完全性、最新性、特定目的への適合性等、一切の保証を行いません。また、利用者が、利用者の判断の主要な根拠として依拠すべきものではなく、利用者は、行おうとする取引について、必要に応じ、ビジネス・アドバイザー、弁護士、税理士、会計士等の専門家と相談するようお願いいたします

# カードローンアンケート調査分析結果

2014年5月30日(金)

株式会社野村総合研究所  
コンサルティング事業本部  
IT事業推進部

〒100-0005  
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル

# アンケート調査実施概要

---

## ■ アンケート調査実施概要

- ネットアンケート調査 調査実施機関 : NRI TrueNavi
- アンケート回収数: 4万サンプル(カードローン保有者: 11,635サンプル)
- 実施時期: 2014年5月末
- 世帯に関する質問
  - ・ 回答者が20代で親と同居していた場合、同居する親も含めた世帯のカードローンの実態を調査

# カードローン保有世帯は28.4%

## ■ カードローンのカードを保有している世帯は28.4%

- 全国補正值: アンケート回答者の年齢構成(20代以上)が、全国の年齢構成と異なる部分を補正処理した推計値

(注) アンケート回答者の年齢構成と全国の年齢構成の違いが、アンケートの集計結果に及ぼす影響は下表のように小さいため、次頁意向の集計では全国補正は行わない。

## ■ カードローンを利用していない人でカードローンに関心がある世帯は、全世帯の4.6%

(注) 20代の回答サンプルには、学生の回答が370サンプル含まれる(同居する世帯の保有有無の回答が含まれる)

### カードローン保有実態、及び新規保有意向

	現在、カードを保有していて、別の新しいカードの利用にも関心がある	現在、カードを保有しているが、別の新しいカードの利用には関心がない	現在、カードを保有していないが、保有・利用に関心がある	現在、カードを保有していないし、関心もない	総計
20代	185	316	189	2,204	2,894
30代	551	1,190	382	5,668	7,791
40代	852	2,465	487	7,859	11,663
50代	792	2,779	386	5,875	9,832
60代以上	461	2,044	329	5,005	7,839
総計	2,841	8,794	1,773	26,611	40,019

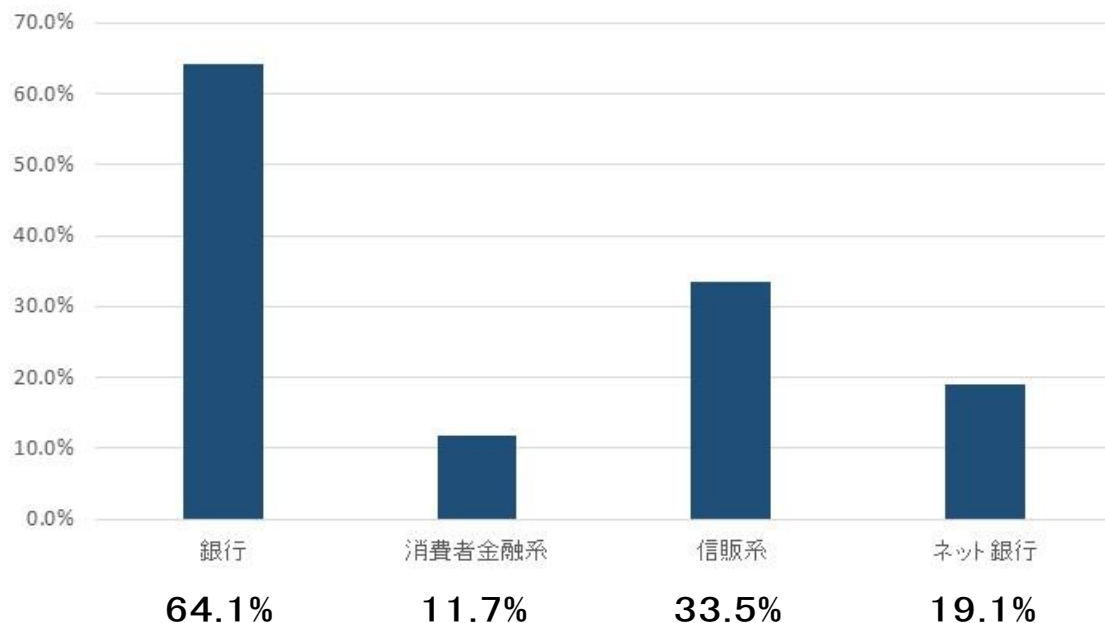
	現在、カードを保有していて、別の新しいカードの利用にも関心がある	現在、カードを保有しているが、別の新しいカードの利用には関心がない	現在、カードを保有していないが、保有・利用に関心がある	現在、カードを保有していないし、関心もない	総計
20代	6.4%	10.9%	6.5%	76.2%	100.0%
30代	7.1%	15.3%	4.9%	72.8%	100.0%
40代	7.3%	21.1%	4.2%	67.4%	100.0%
50代	8.1%	28.3%	3.9%	59.8%	100.0%
60代以上	5.9%	26.1%	4.2%	63.8%	100.0%
総計	7.1%	22.0%	4.4%	66.5%	100.0%
全国補正值	6.7%	21.7%	4.6%	66.9%	100.0%

# 保有するカードは銀行系が64%

## ■ 銀行系のカードローンが最多の64.1%

- 年代別に見ると、消費者金融系のマイナスのイメージが払拭できない50代、60代以上の高い年代で、消費者金融系のカード保持が少ない。

### カードローンの発行主体



### 年代別の発行主体

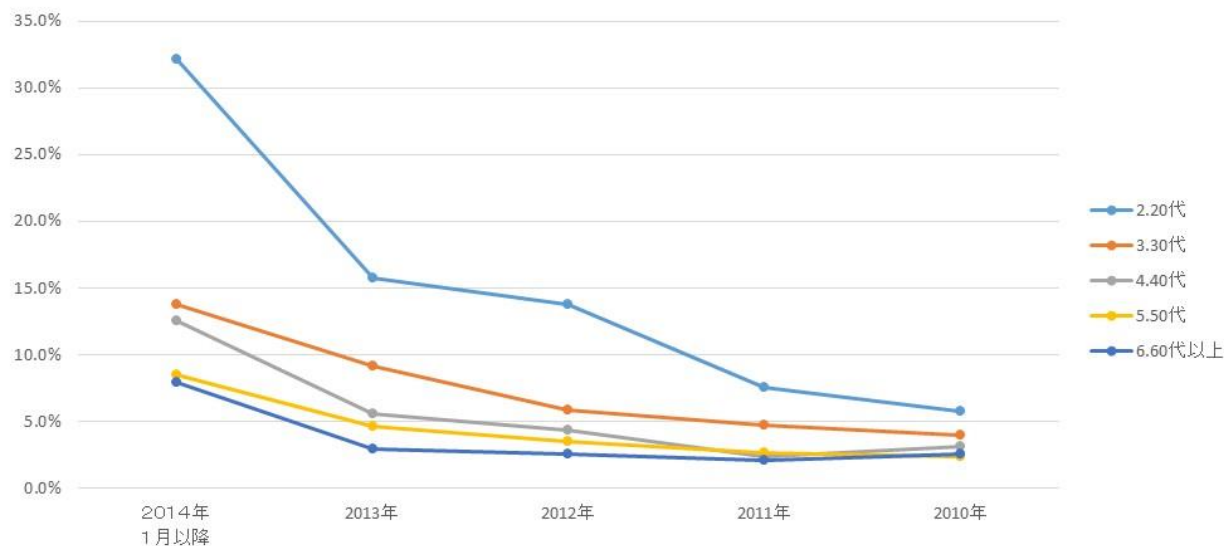
	銀行	消費者金融系	信販系	ネット銀行	合計
20代	47.4%	14.1%	23.3%	15.2%	100.0%
30代	46.3%	13.6%	24.9%	15.2%	100.0%
40代	49.9%	10.1%	26.1%	13.9%	100.0%
50代	50.8%	7.8%	25.8%	15.6%	100.0%
60代以上	51.6%	6.1%	27.7%	14.6%	100.0%

# 近年、特に若い世代でカードローン保有が進んでいる

## ■ 近年、カードローンの保有者が増えている。

- グラフでは、2009年以前の保有時期を省いている。30代以上の世代では2009年以前の取得が70%を越えている。
- 2014年1月以降の数值は、2014年12月までの1年間の推計値である。
  - ・ 推計は、アンケートを5月末に実施したため、単純に12/5倍をした数值である

## カードローン保有時期

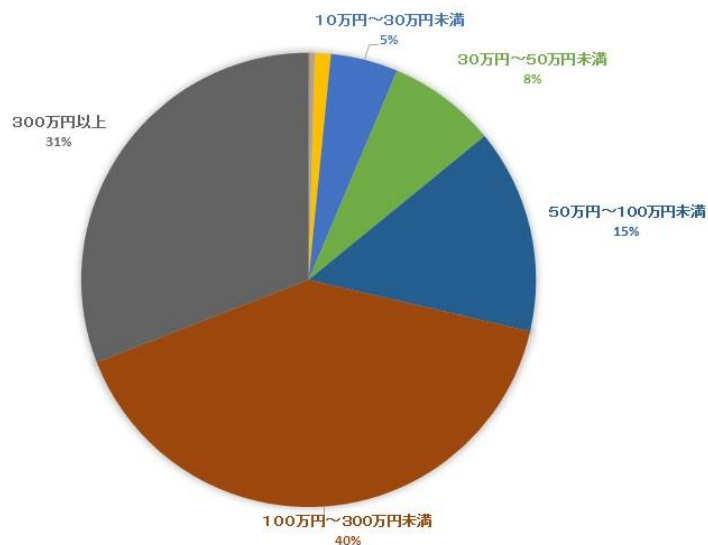


	2014年1月以降	2013年1月～2013年12月	2012年1月～2012年12月	2011年1月～2011年12月	2010年1月～2010年12月	2009年12月以前	総計
20代	13.4%	15.8%	13.8%	7.6%	5.8%	43.7%	100.0%
30代	5.7%	9.2%	5.9%	4.7%	4.0%	70.5%	100.0%
40代	5.2%	5.6%	4.3%	2.4%	3.1%	79.4%	100.0%
50代	3.6%	4.6%	3.5%	2.7%	2.4%	83.3%	100.0%
60代以上	3.3%	2.9%	2.6%	2.1%	2.6%	86.5%	100.0%
総計	4.7%	5.7%	4.3%	3.0%	3.0%	79.2%	100.0%

人数ベースでは「借入れなし+少額借入」の人が大半であるが、金額ベースでは50万円以上を借入れている人で全体の86%を占める

## 借入額別の構成比

### 金額ベース

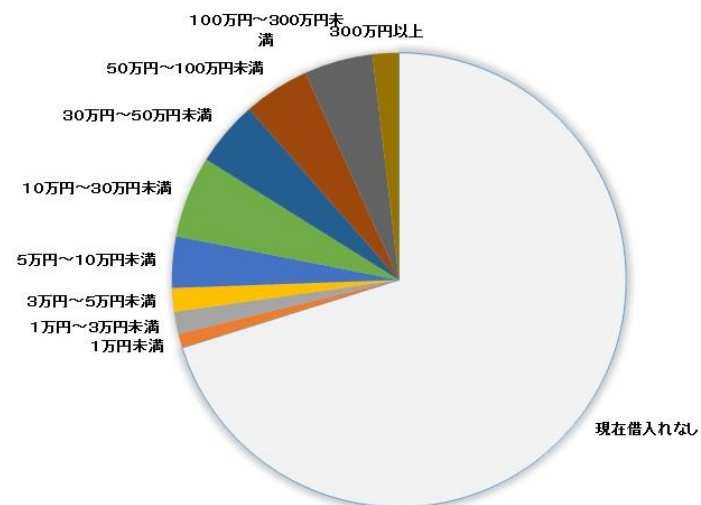


- アンケートの選択肢は、金額に幅をもった選択肢であるため、金額への換算においては、以下のような設定のもと上のグラフを作成している。

(例) 50万円～100万円未満 ⇒ 75万円

300万円以上 ⇒ 400万円

### 人数ベース

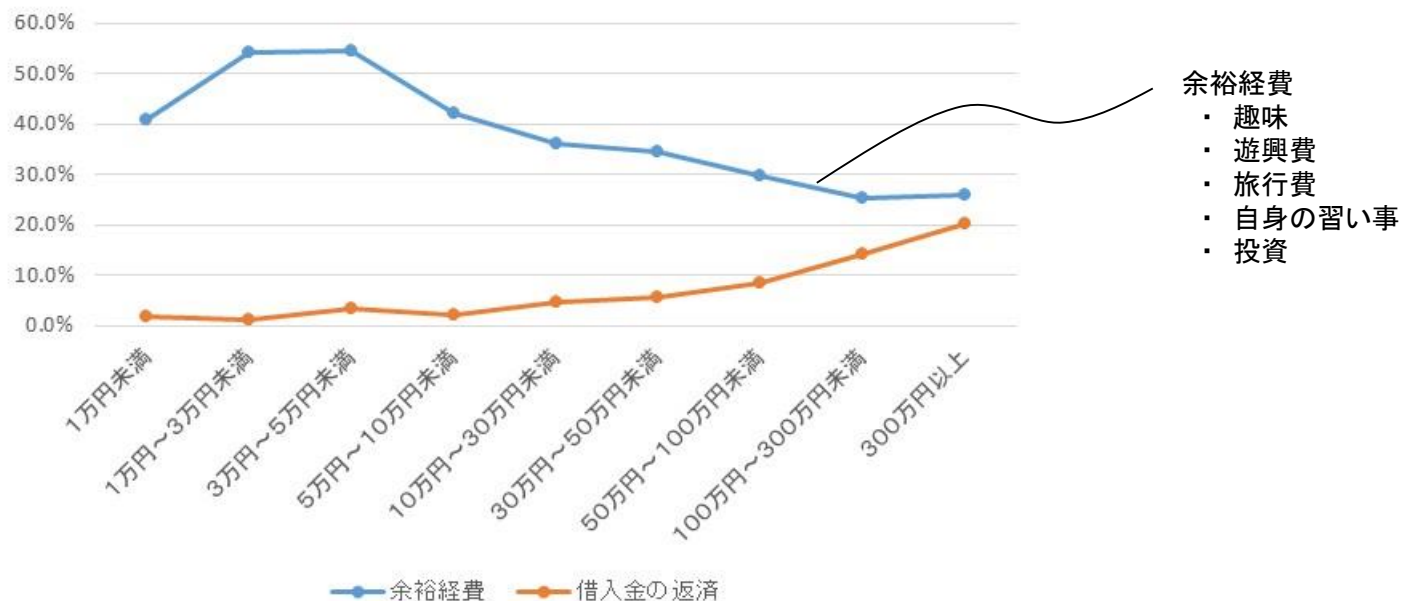


- アンケート回答時において、借入れがないと回答した人が70%を占めている。これは、カードは保有しているが利用していない人、また、アンケート回答時に完済して借入れが0だった人が含まれる。

## 少額の借入れをする人は、趣味や遊興費、旅行などの人生を豊かにする目的でカードローンを利用している人が多い

- 借入金が多い人は、「借入金の返済」のための借入れを主目的とする人が増えている。

### 借入金額と利用目的の関係



## (参考データ)

### 借入金の主要用途

	生活費(食費、住居費など)	趣味	遊興費	旅行費	子供の教育費	自身の習い事(外国語、スポーツクラブなど)	医療費	借入金の返済	投資	慶弔費などの突発的な出費	その他	総計
0円(現在借入れなし)	18.7%	11.1%	4.6%	6.9%	1.8%	0.4%	1.3%	1.2%	1.4%	9.6%	42.9%	100.0%
1万円未満	29.1%	30.0%	6.4%	4.5%	1.8%	0.0%	0.9%	1.8%	0.0%	5.5%	20.0%	100.0%
1万円～3万円未満	25.6%	27.9%	14.0%	7.0%	1.7%	2.3%	2.3%	1.2%	2.9%	9.3%	5.8%	100.0%
3万円～5万円未満	23.5%	21.9%	14.2%	13.7%	3.3%	4.4%	1.6%	3.3%	0.5%	5.5%	8.2%	100.0%
5万円～10万円未満	32.8%	16.3%	13.5%	10.3%	5.3%	1.3%	2.0%	2.3%	0.8%	6.8%	9.0%	100.0%
10万円～30万円未満	34.1%	16.1%	8.5%	9.2%	3.0%	1.3%	1.6%	4.7%	1.1%	7.3%	13.1%	100.0%
30万円～50万円未満	36.5%	15.3%	6.7%	9.0%	3.1%	1.6%	2.7%	5.5%	2.0%	5.5%	12.2%	100.0%
50万円～100万円未満	36.3%	13.1%	8.0%	5.5%	4.7%	0.8%	2.1%	8.6%	2.3%	3.7%	14.8%	100.0%
100万円～300万円未満	37.1%	11.0%	8.2%	2.1%	6.2%	0.9%	2.6%	14.2%	3.0%	3.9%	10.7%	100.0%
300万円以上	29.9%	8.3%	6.9%	2.0%	5.4%	0.0%	2.0%	20.1%	8.8%	2.9%	13.7%	100.0%
わからない	27.1%	11.9%	2.8%	4.9%	1.7%	0.6%	0.4%	5.2%	1.0%	3.5%	41.0%	100.0%
総計	23.4%	12.4%	5.8%	6.8%	2.5%	0.7%	1.4%	3.2%	1.6%	8.1%	34.1%	100.0%

(注)アンケートは複数回答不可

#### ■「その他」回答な中身に対する考察

「その他」を回答した人の割合が少ない。特に、借入額が、「0円」、「1万円未満」、「わからない」と回答した人にその割合が高い。

「0円」と回答した人で、主要用途を「その他」と回答した人は、カードを利用したことがない、又はほとんど利用しないというカード未利用者が多く含まれる可能性がある。

「1万円未満」と回答した人で「その他」と回答した人は、他のアンケート結果から類推して「交際費」が多く含まれる可能性がある。

現在の借入額が「わからない」と回答した人は、本人がカード利用者ではないため(例:20歳以上の学生)、親の利用目的がわからないというケースが多いと思われる。

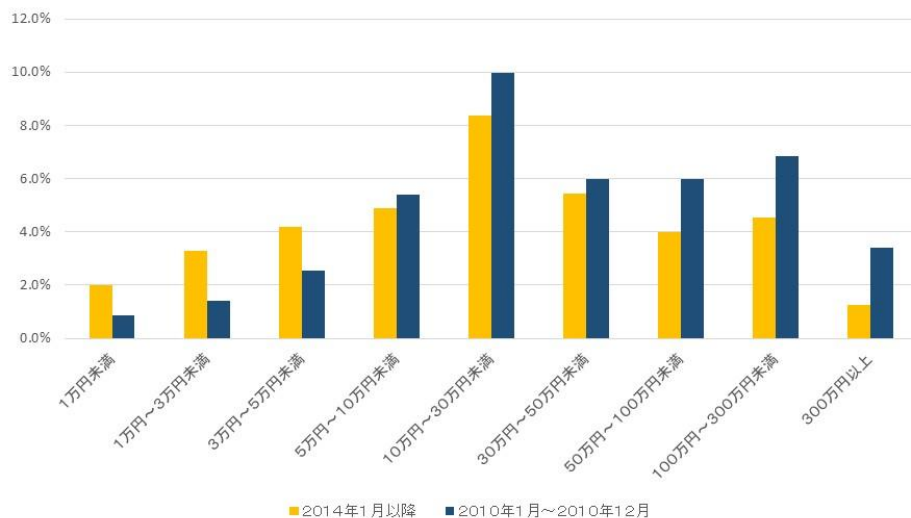


## カード取得時は少額な借入れが多いが、時間の経過とともに借入れ額は増える

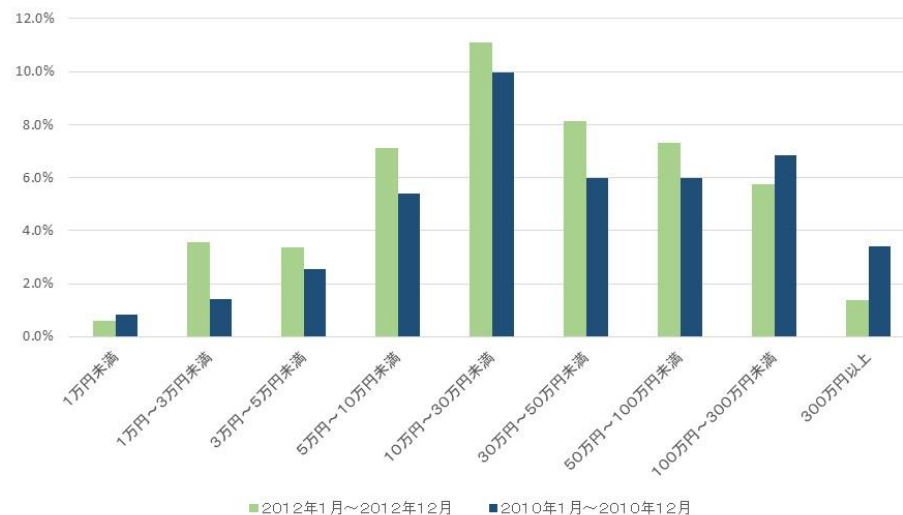
- 最も多い借入額は、どの年のグラフも「10万円～30万円未満」のレンジであるが、2014年⇒2012年⇒2010年と年を遡るにつれて、グラフが高額帯にシフトしている。

### カード取得年と借入金額帯の関係

#### 2014年と2010年の比較



#### 2012年と2010年の比較



## 年代によりカードローンの利用目的が異なる

- 20代の利用者は、相対的に趣味が多く、60代以上では、旅行費・慶弔費が他の年代に比べ多いのが特徴である。

### 年代と借入れ目的

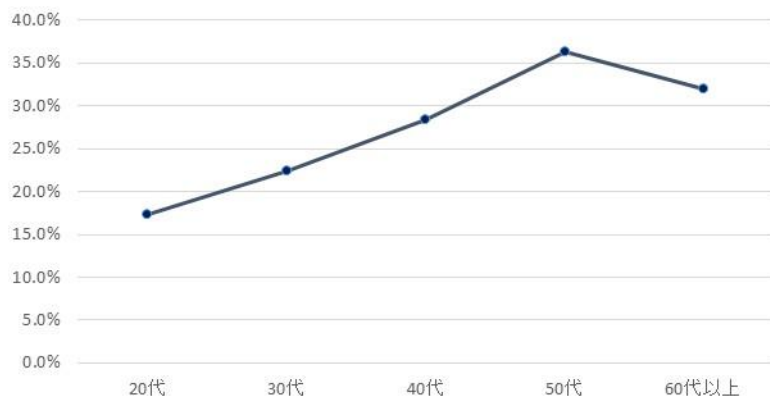
	生活費(食費、住居費など)	趣味	遊興費	旅行費	子供の教育費	自身の習い事(外国語、スポーツクラブなど)	医療費	借入金の返済	投資	慶弔費などの突発的な出費	その他	総計
20代	33.3%	19.6%	6.2%	6.0%	2.2%	1.6%	1.2%	3.4%	1.8%	3.4%	21.4%	100.0%
30代	30.5%	12.2%	6.0%	6.5%	1.7%	1.4%	1.7%	3.6%	1.3%	7.0%	28.1%	100.0%
40代	26.4%	11.7%	6.2%	4.4%	3.0%	0.7%	1.1%	3.4%	1.4%	7.8%	33.7%	100.0%
50代	22.1%	12.3%	6.0%	6.8%	3.5%	0.4%	1.6%	2.9%	1.9%	8.8%	33.8%	100.0%
60代以上	14.3%	12.3%	4.7%	10.5%	0.8%	0.4%	1.6%	2.8%	1.7%	9.1%	41.9%	100.0%
総計	23.4%	12.4%	5.8%	6.8%	2.5%	0.7%	1.4%	3.2%	1.6%	8.1%	34.1%	100.0%

## 年代が高いほど保有率が高い ～50代の保有率が最も高い～

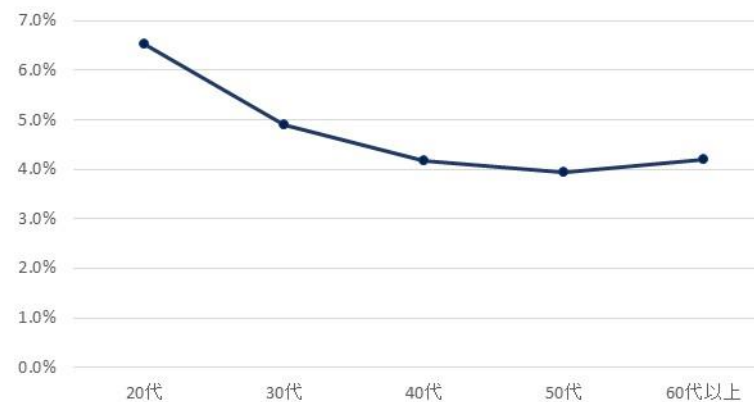
### ■ 年代が高いほどカード保有率は高い。

- カードローンの保有・利用に関心があるという人の割合は、年齢が若いほど高い(右下図)。
- このことから、ライフサイクルの視点から40代・50代でカードローンニーズが高まるというよりも、カード保有機会が長いことが、年代が高いほど保有率が高くなる主要因と考えられる。
  - ・ 一度、カードを保有した人は、ニーズがなくなってもすぐに解約しない人が多いと推定される。

#### 年齢とカード保有率の関係



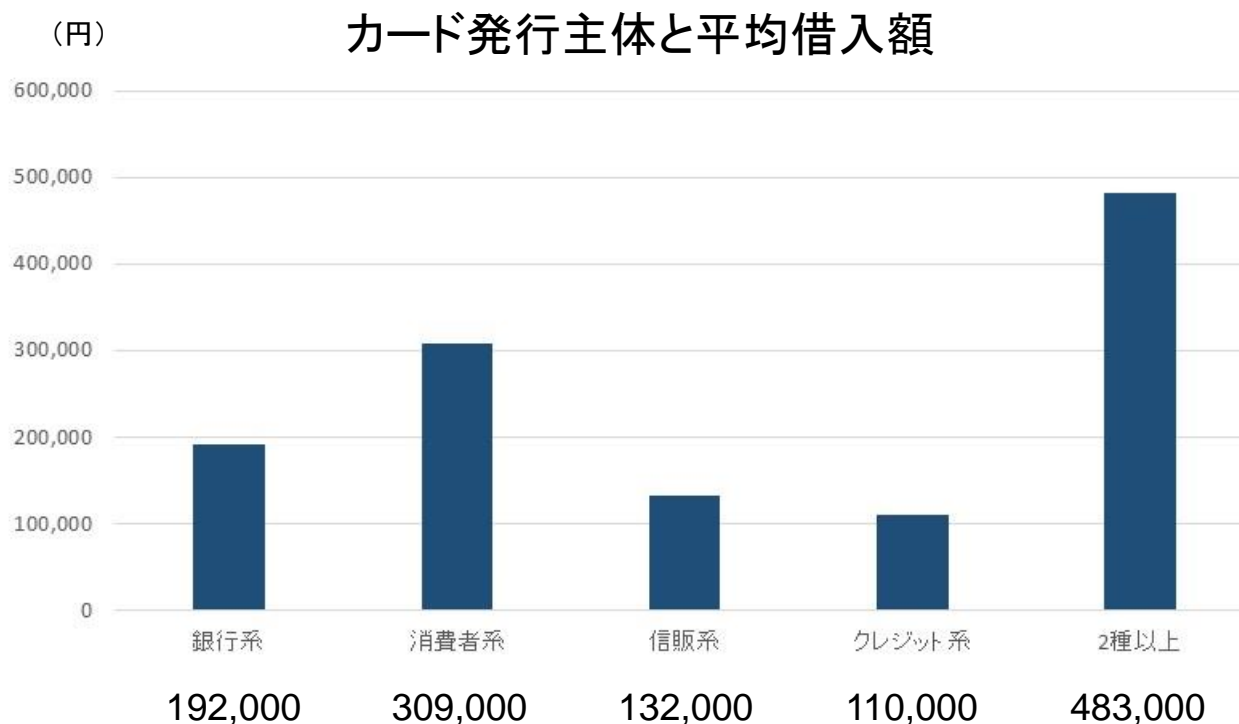
#### 年齢と新規保有意向の関係



## 消費者系の平均借入額は銀行系の1.5倍

- カード発行主体別の平均借入額を比較する。
- 銀行系のみ保有している人は19.2万円、消費者系のカードのみ保有しているでは30.9万円と、ほぼ1.5倍のひらきがある。

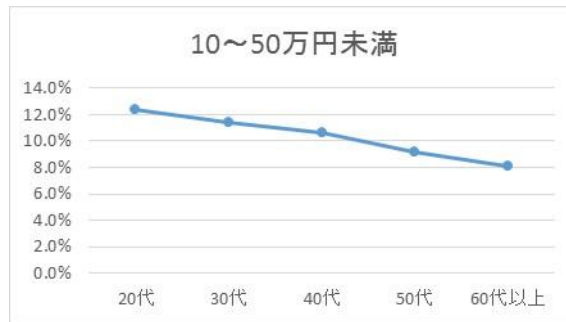
(注) 銀行系のカードのみ保有している人の中には、銀行系カードを複数保有している人も含まれます。(他も同様)



# 年代により異なる借入れ額

- 年代により資金需要と返済力に差があるため、年代により借入額が異なる。
- 若い年代では少額の借入れが多く、高額な借入れは40代・50代に多い。

## 年代と借入額



(注)20代のサンプル数は、501サンプルと他の年代に比べて少ないことにより、データが振れている可能性がある。